鎌倉市地域福祉計画の 進捗管理 ・評価
（ 令和３年度事業の 総括 ）

鎌倉市では、令和２年度から令和７年度までの６年間における地域福祉を推進するための指針として、令和２年３月に「 鎌倉市地域福祉計画 」を策定しました。

本計画は、『 **お互いを尊重し、支え合いながら、ともに活きるまち　かまくら** 』をめざして、５つの基本目標、１０の施策、３１種に分類された２０３の取組 で構成されています。

本計画に基づく地域福祉の取組を、効果的かつ継続的に推進していくために、事業展開についての評価を行い、その都度見直しができるよう以下のように計画の進捗管理と評価を行っていきます。

１　進捗管理 ・ 評価

市の施策・取組について進捗管理を行うことで、計画に基づく事業展開ができたのかを検証します。その結果を市民や関係団体の代表者からなる「鎌倉市地域福祉計画推進委員会（以下「委員会」という。）」に報告し、意見をいただきます。

２　進捗状況 ・ 評価の結果

令和３年度の取組事業が達成できたかどうかを下記の４段階で確認しました。

区分		達成率	実績	構成割合
A	75％～	目標に向け順調に実施できた。又は事業が完了した。	12	80%
B	50％～	おおむね実施できたが、不十分な点が少しある。	1	7%
C	25％～	実施したが不十分な点が多い。	1	7%
D	０％～	改善が必要、又はほとんど実施できなかった。	1	7%
		合　計	15	100%

（成果指標の評価実績）

３　計画前半を振り返って

令和２年度にスタートした本計画は、令和４年度で前半の３年間が終了することになります。ここで、前半の推進状況全体を振り返ります。

計画策定時に想定していなかったのは、何といっても新型コロナウイルス感染症の感染拡大でしょう。このウイルスのまん延は、人々から接触の機会を奪いました。対面での交流が大幅に制限され、会食も自由にすることができなくなりました。

地域福祉の推進には、人々の交流が欠かせません。こういった制限が課されることで、本計画の推進にも大きな障害になるかと思われました。

しかし、本報告書の「各取組の進捗状況」をご覧いただいて分かるとおり、各担当課はオンラインを活用するなど新たな手法を積極的に取り入れ、対面と同等とはいかないまでも相応の成果を上げ、結果的にほとんどの事業において、目標を達成しています。このように、「創意工夫」で乗り越えたのが本計画の前半期でした。

また、計画策定時には実施していなかった事業として、本市では令和４年度から「重層的支援体制整備事業」を開始しました。これは社会福祉法第106条の４第２項に基づき、市町村において、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備することを目的とした、市町村が実施主体となる事業です。

この事業は、本計画における「目標１　総合的な相談体制の確立」、「目標２　包括的支援体制の構築」及び「目標４　地域生活支援と権利擁護に関する事業」を実施するためのものです。

本市では、既存の相談支援体制や地域づくりに関する事業を最大限活用し、①属性を問わない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援、④多機関協働による支援、⑤アウトリーチ等を通じた継続的支援の５つの事業を一体的に実施することで、各分野の連携による包括的支援体制の構築を図っていきます。

4　委員会の講評

- コロナ禍にあって、活動が大幅に制限される中、概ね評価されるものと考えます。
- 目標値の設定について一言説明があると、報告書への理解が進むと思います。
- 例えば広報・啓蒙・宣伝のために講演会・展示・冊子化などをした場合、開催回数(企画回数・展示回数等)は目標値を達成したとしてA評価になるかも知れません。でも内容はどんなものだったのか、参加者の理解は深まりしっかり納得できたのかどうかは分かりません。そこまで確認して初めて目標を達成したかが分かるものだと思います。担当部署内部でしっかり把握し評価してその結果を進捗状況として報告するなど検討を期待します。
- 計画全体の評価に付きましては、A評価が多いので皆さん頑張っていらっしゃると思います。

5　総括

- 6か年の鎌倉市地域福祉計画は、今年度で前半3年間が終了することとなる。
  地域福祉の推進のための基本理念、その実現に向けたかなり詳細まで詰まった目標設定は非常に有意義な取り組みである一方、それらの項目を達成するためには、かなりの苦労が為されたものと考えております。
- ご指摘の通り、コロナ禍における人々との交流の機会が大幅に制限されていた中、各担当課がオンラインなど新たな手法を取り入れ、ほとんどの事業において目標を達成されていることは、ご努力の賜物だと思いますし、素晴らしいことだと思っております。
- 今後は、特に取組推進が芳しくなかった取組事項について、地域福祉の重要性について、各担当課との意見交流、他事業体との協働や市からの積極的な市民への推進、周知活動を通じて、目標達成が為されることに期待しております。
  またそれらの活動の一助となれれば幸いです。